

2010年度 第1回

地盤工学セミナーを開催

県地質調査業協会



県地質調査業協会(原裕理事長、会員7社)主催の2010年度第1回地盤工学セミナーが23日、佐賀市のアバンセであり、理事長を務める日本建設技術㈱の原社長をはじめ、同社の牛原裕司主任、林重徳顧問(佐賀

大学名誉教授)の3人が「地盤材料と地盤技術の新たな展開」をテーマに講演した。セミナーにはコンサルタント会社や建設会社などから約80人が参加、熱心に聴講していた(写真)。

同セミナーは技術者の地盤工学に関する知識向上などを目的に10年度からスタートした。年に3回開催する方針で、9月24日に第2回、11月に第3回を予定している。

原社長は「新地盤材料ミラクルソルの活用技術」の演題で講演。ワインボルトなどの廃ガラスから製造されるミラクルソル(発泡廃ガラス)を活用した水質浄化、環境土木、緑化などの工法を説明した。その中で、原社長は「今後は環境に配慮した工法の採用が重要となり、機能性や経済性に加え、環境負荷の低減に関する項目も工法採用の条件に加えていくべきだ」と話した。

牛原主任は間伐材の活用技術について講演。「継続した間伐事業を行うには、活用先となる出口戦略が必要で、間伐材を利用した技術の開発と普及が望まれる」と説明した上で、建築分野や植生基盤材などの活用途を紹介した。

林顧問は「地盤技術の

生物地圏環境分野(底質改善)への展開」と題し、有明海再生をテーマに講演。地盤工学を応用した底質改善に有効な工法を紹介した。



発行所
株式会社 建設新聞社
〒849-0301
小城市牛津町乙柳1145-7
Tel. 0952-66-5750 (代)
FAX 0952-66-5751
購読料 月額5,775円(税込)
社団法人 日本専門新聞協会会員
ホームページ
<http://www.kensetsunews.co.jp>
e-mailアドレス
kssaga@lime.ocn.ne.jp

●新聞発行日●
毎週
火・木・土曜
一週3回

建設新聞社は建設業を応援します!
「日本には
建設業が必要です」